

みちのく鹿島球場サブグラウンド整備事業

1 目的及び必要性

本市は、東日本大震災から4年が経過してもなお20km圏内の居住ができないなど、依然として2万人を超える避難者がおり、うち12,590人が市外避難、8,703人が仮設住宅などの市内避難となっている。

また、双葉郡内の住民も帰還のめどが立たず、浪江町の住民を中心に2,097人の避難者が本市で生活しており、加えてこうした避難者受け入れのための福島県復興公営住宅927戸の整備が予定されている。

こうした中、地域コミュニティの再生や交流拡大が大きな課題となっていることから、子どもから高齢者までの誰もが利用できる施設の整備が望まれている。

このため「南相馬市復興計画」の個別実施計画である「南相馬市スポーツ推進計画」に掲げた「みちのく鹿島球場サブグラウンド整備事業」において、多目的に利用できる施設整備により、地域交流や世代交流の促進によるコミュニティの再構築を進めるとともに、健康の維持増進や介護予防を図るものである。さらには、スポーツによる交流機会の充実・拡大を図るものである。

2 施設の概要

(1) 整備予定地

南相馬市鹿島区北右田字榎内地内

(2) 整備面積

22,015 m²

(3) 整備内容

野球のサブグラウンド以外に、サッカーやグラウンドゴルフ等の多目的に利用できるようにサッカー場1面が確保される面積とする。

(4) 付帯施設

駐車場150台（小中型車135台、大型5台）、トイレ1カ所、防護ネット

3 整備スケジュール

	27年度	28年度	29年度
用地確保	—————→		
実施設計		—————→	
整備工事			—————→

《みちのく鹿島球場サブグラウンド》

133.3m

42~45m

グラウンド面積13,332㎡

駐車場
(面積4,213㎡)

90m

100m

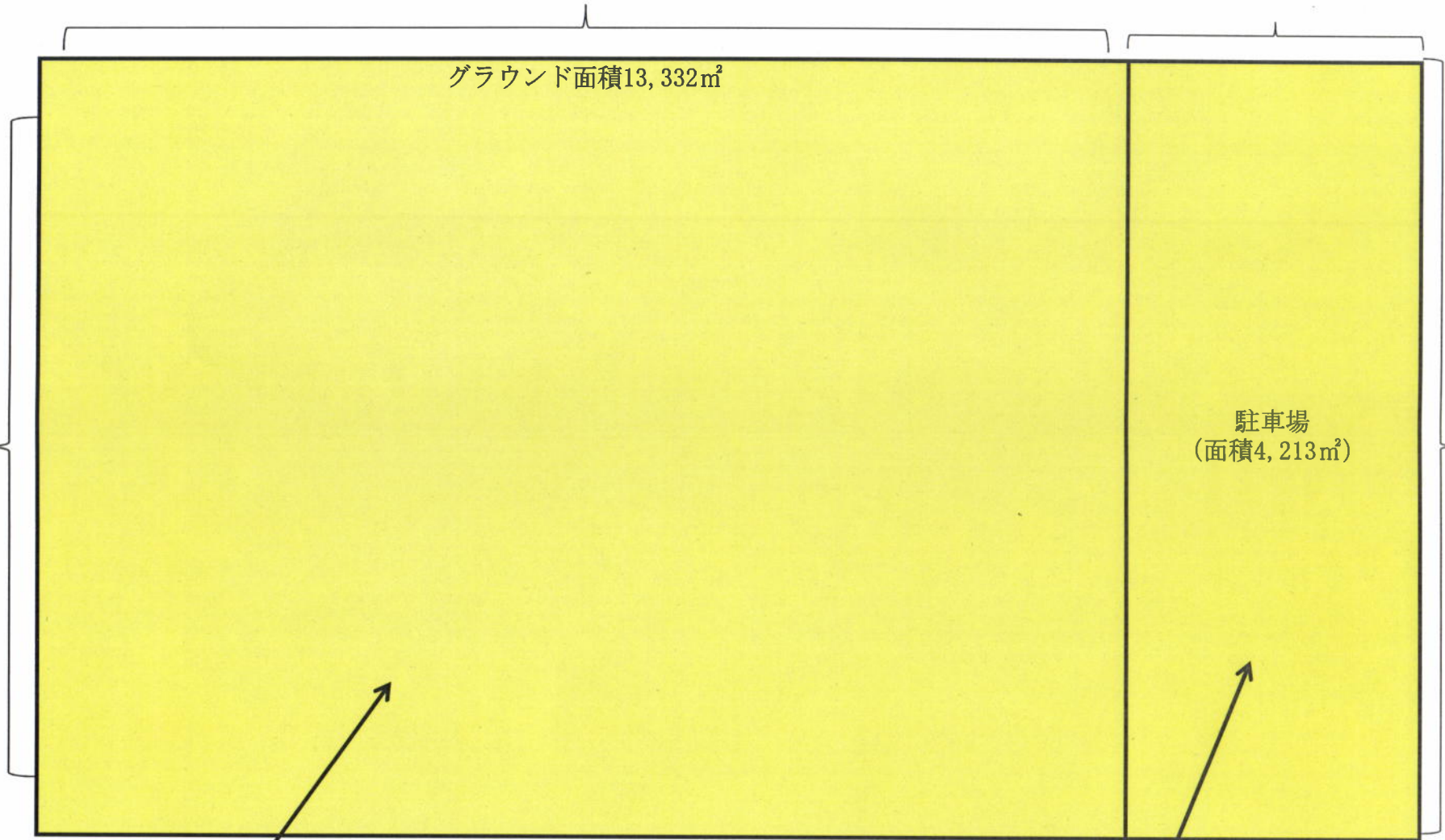
野球サブグラウンド

(※サッカー場1面・その他、グラウンドゴルフ等多目的利用が可能)

駐車場

(小・中型車135台、大型5台)

※車道5.5mとして



みちのく鹿島球場サブグラウンド計画位置図

